

I. 「東大和市パーク・グラデーションプラン」の概要

1 「東大和市パーク・グラデーションプラン」とは？

- 「東大和市パーク・グラデーションプラン」は、市民が利用しやすく、かつ特色のある公園づくりを目指して策定した「東大和市公園等再整備・管理運営方針」を実現するための計画です。現在、市民の声を反映しながら内容の検討を進めています。
- これまでの「特色ある公園整備基本方針」や「公園施設長寿命化計画」を再構築することで、公園に関する総合的な計画としていきます。

これまでの計画・方針



■市内公園の現状

小さな公園が多い/みんなで集まれる公園が少ない



市民の声...

- 公園で思い切り、自由に遊びたい
- もっとイベントを開催してほしい
- 市民の交流・活動の場が欲しい

似ている公園が多い/利用の制限が多い



市民の声...

- どの公園も同じような遊具で特徴がない
- 公園ごとの特徴がないのでどこの公園に行っても変わらない
- 禁止ばかりで、自由に公園が使えない

施設が古くなってきている/日常の維持管理ができていない



市民の声...

- 遊具やベンチが古くて、使いにくい
- 草が伸び放題で、虫も多くて落ち着かない
- 見通しが悪く、防犯面で不安がある

2 「パーク・グラデーション」は「多彩な公園」づくりです！

- 「パーク・グラデーション」とは、「公園に関わる多様な要素を自然な形で調和させながら、グラデーションのように融合させて『多彩な公園』の実現を目指す考え方」です。
- 現在の公園の魅力を活かしながら、下に示す課題を3つの考え方で解決することで、「パーク・グラデーション」を段階的に実現させていきます。

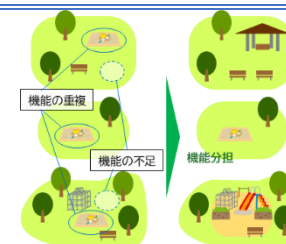


課題①「ストック」の偏り…小さな公園が多く、公園を自由に使えていない。

考え方①

「ストックを見直す」

市民が使いやすい公園となるよう、公園の広さや施設、使われ方に合わせて公園の機能分担をしていきます。



課題②「特色」の不足…遊具や施設の構成が同じような公園が多い。

考え方②

「魅力を高める」

市民の声を踏まえ、施設や使い方に特色を持たせながら、幅広い世代にとって魅力のある多彩な公園づくりを進めます。



課題③「持続性」の不足…老朽化や維持管理不足により公園が利用しにくくなっている。

考え方③

「みんなで支える」

地域住民や民間事業者と共創することにより、多彩な公園であると同時に持続的な管理・運営ができる体制づくりを行います。

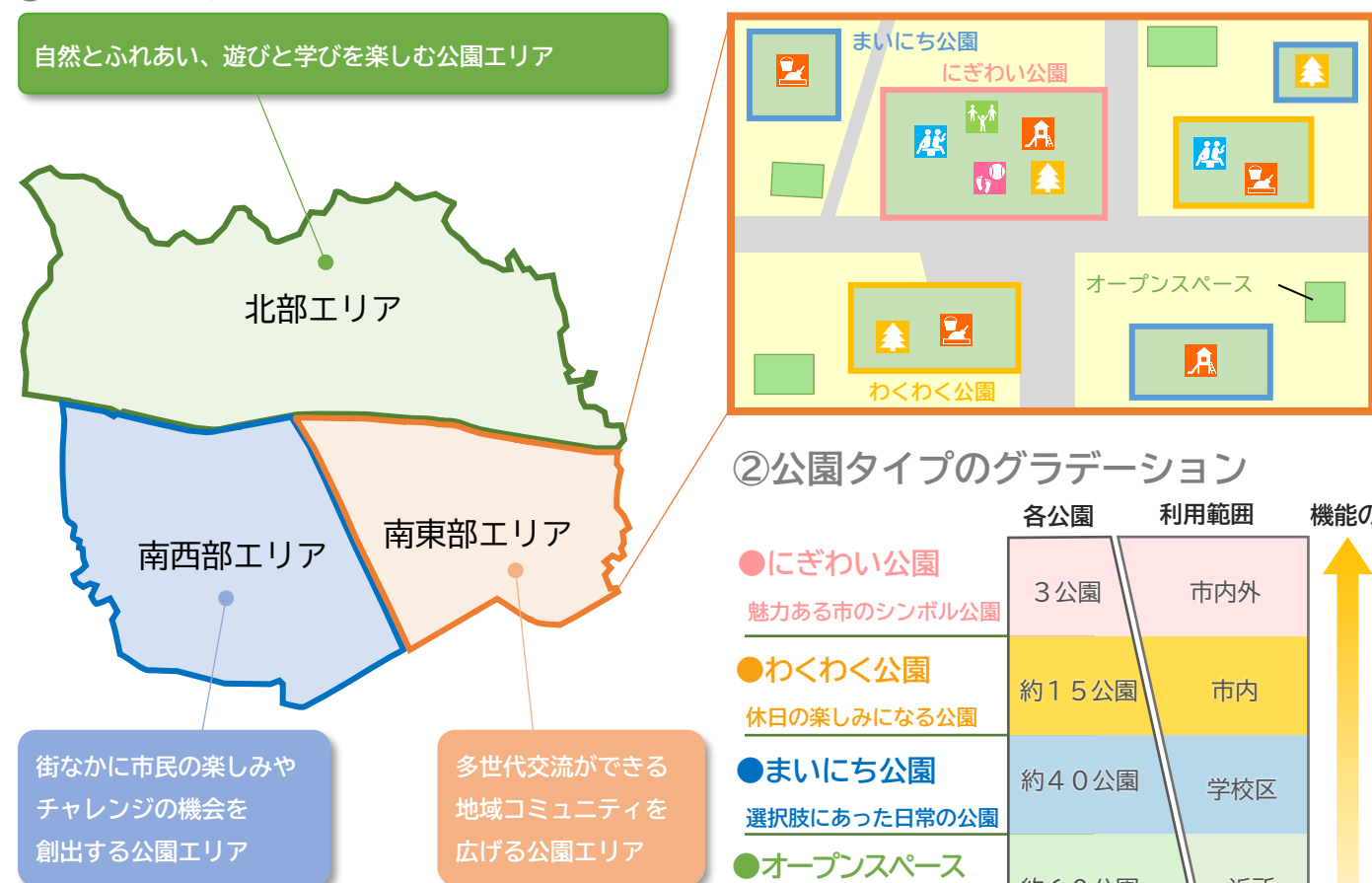


Ⅱ. 公園タイプ設定と機能分担による「パーク・グラデーション」づくり

1 お住まいのエリア内でパーク・グラデーションを楽しめます！

- お住まいのエリア内で多彩な公園を楽しめるよう、市域を3つのエリアに分け、それぞれのエリア内にパーク・グラデーションをつくります。
- パーク・グラデーションは、公園等がもつ魅力（広さや機能）や利用状況により、公園を4タイプに分け、エリア内の公園に設定し、公園の機能を分担して再配置することにより実現させます。

①3つのエリア



②公園タイプのグラデーション

	各公園	利用範囲	機能の数
●にぎわい公園 魅力ある市のシンボル公園	3公園	市内外	
●わくわく公園 休日の楽しみになる公園	約15公園	市内	
●まいにち公園 選択肢にあった日常の公園	約40公園	学校区	
●オープンスペース ひと息つける小さな公園	約60公園	近所	

想定される市民の公園の利用範囲を考慮して、機能を分担して配置します。



③公園の機能分担



2 「公園タイプ」によりパーク・グラデーションを楽しめます！

- 公園タイプは、エリア内の公園等にバランスよく設定します。
- 公園タイプごとに異なる魅力を持たせることにより、市民が生活圏（エリア）内で、目的や好みに応じて利用する公園のタイプを選べる環境をつくります。

にぎわい公園

- ◎市内で唯一となる魅力を持ち、市内外の多くの利用者が様々な形で活用できるにぎわいの拠点となる公園です。
- ◎多くの機能を持ち、自然環境の保全、遊び、休憩、交流、イベントなど、様々な利用ができます。



例：大規模イベント(人)

わくわく公園

- ◎それぞれの公園が特色・魅力を持ち、市民の多様なニーズに沿う、わくわくする楽しみ方が広がる公園です。
- ◎複数の機能を持ち、市民の多様なニーズに合った特色によりそれぞれの公園での楽しみ方を実現できます。



例：自由に使える芝生広場(人、人、人)

まいにち公園

- ◎近隣に住む方が日常的に利用できる、身近で親しみやすい公園です。
- ◎1つ以上の機能を持ち、遊びや休憩など、目的に合わせた利用ができます。



例：小学生に人気の遊び場(人)

オープンスペース

- ◎近隣に住む方や通りがかりの方が、気軽に利用できるゆったりした空間です。
- ◎特定の機能はなく、ちょっとした休憩や、広さを活かした地域の活動などに利用できます。



例：ゆったり過ごせる草地空間(人)

Ⅲ. 公園テーマによる「パーク・グラデーション」づくり

1 公園ごとの魅力を示す「公園テーマ」を決めます！

- 公園ごとの使い方（ソフト面）や施設内容（ハード面）を再編し公園タイプや機能を定め、その魅力に合った「公園テーマ」を決めることで、公園等の特色を高めていきます。



面積が広い公園なのに、他公園と似た遊具しかなく、魅力があまり感じられない。



公園中央に滑り台があり、運動などの目的では、自由に活用しにくい。



面積が狭い公園の大部分に遊具があり、ゆったり利用できるスペースが十分でない。

魅力となる公園の使い方や施設の内容に合わせて公園タイプ・機能分担・公園テーマを決定

公園タイプ

わくわく公園

まいにち公園

オープンスペース



公園テーマ

公園の機能

“色々な楽しみが広がる公園”

遊具や花木を活かした、周辺にはない楽しみある、魅力的な公園に！

●活用イメージ

- 魅力的な遊具での遊び
- 子どもの自由な運動
- 四季の花景観の鑑賞

など

“健康づくりのできる公園”

思いきり身体を動かせるように「スポーツ・健康」に特化した場に！

●活用イメージ

- ボール遊び
- 健康づくり/トレーニング
- 五感を使った運動

など

“ひと息つける小さな公園”

ゆったりとしたスペースで、ちょっとした休憩や交流がしやすい場に！

●活用イメージ

- スペースを活かした地域活動
- 読書や歓談/ピクニック
- ちょっとした運動

など

2 ゆったり歩ける緑道にも、さらに楽しみ（テーマ）を加えます！

- 個々の緑道の特徴を活かしながら、公園との一体的な利用や、公園のみではかなえることができなかった新たな過ごし方を生み出す「テーマ」を設定します。



3 多様なテーマをもつ公園により、グラデーションを実現します！

- 公園にも緑道にも、それぞれ規模や特徴に応じた公園タイプ・機能を割り当てることで、多様なテーマ（特色）をもつ1つ1つの公園等をつくり、結果として、東大和市全体で、多彩な公園「パーク・グラデーション」を実現することを目指します。

パーク・グラデーション
魅力あふれる多彩な公園が
少しずつ、まち全体に広がっていく

